

1年 国語科「すずめのくらし」

どきどき(事象・出会い) 実生活や既習事項との関連等

【工夫した点・意図】

文中の問いを自身の問いと捉えさせるために、導入場面で本文は見せないで、タブレット端末で配付した写真を見せた。

【成果と課題】

- 写真を見て自ら疑問をもつことができたので、課題意識をしっかりとって、主体的に取り組むことができた。
- タブレット端末を活用したことで、写真の細部まで拡大して見ることができ、より写真に注目させることができた。

2・3年算数科

「たし算とひき算のひっ算(1)」 「たし算とひき算の筆算」

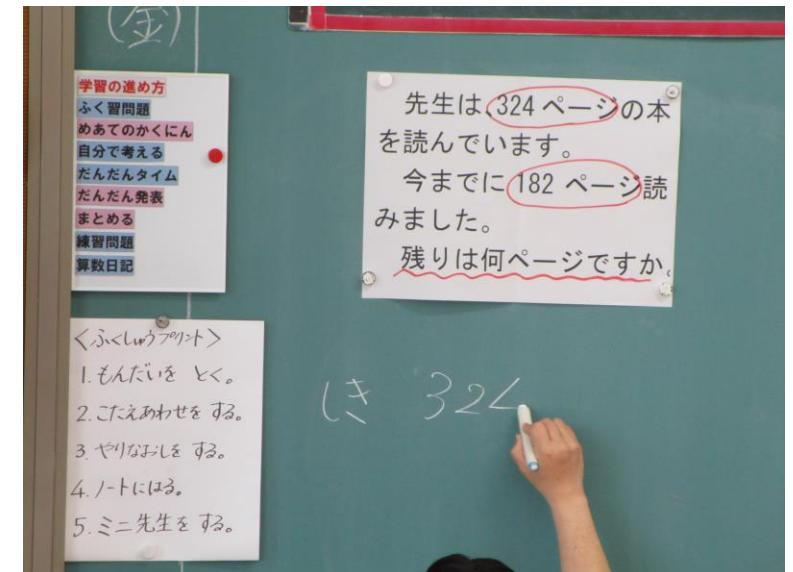
どきどき(事象・出会い) 実生活や既習事項との関連等

【工夫した点・意図】

- ・既習事項の確認を行い、本時の学習につながるようにする。
- ・身近な出来事と捉えられるような問題文にする。

【成果と課題】

- 前時との違いに気付き、既習事項をいかして自分の考えを書くことができた。
- 子どもたちの反応がよく、問題を解きたいという意欲につながった。



6年国語科「パネルディスカッション」

どきどき(事象・出会い) 実生活や既習事項との関連等

【工夫した点・意図】

議題を「正岡地区をより楽しくするには」とし、実生活に近い内容について考えさせることで、主体的に学習に取り組む意欲をもたせた。

【成果と課題】

- 自分たちが住む地域の課題について考えさせることで、より具体的なアイデアを挙げることができた。
- 調べ学習では、ロイロノートを活用し、自分の考えをスライドにまとめながら整理し、他者に分かりやすく伝えるよう工夫させることができた。
- △他校との交流を目標に設定しても面白かったと思う。



5年外国語科「Hello,everyone」

どきどき(事象・出会い) 実生活や既習事項との関連等

【工夫した点・意図】

目的意識をもって英語を使うことができるよう、新たに出会う先生や友達に自己紹介(氏名・好きなもの)をしようと単元のゴールを設定した。教師が準備した名刺カードに、これまでに学んだアルファベットで氏名や好みを書くことで、既習事項とのつながりも意識させた。

【成果と課題】

- 単元のゴールを設定することで、何のために英語を学ぶのが明確になった。また、実生活で英語を使うことで、学習に対する意欲の向上が感じられた。
- 名刺づくりを通して、これまでに学んだアルファベットを実生活に役立てる(既習事項との関連)が達成できた。
- 外国語アシスタントの活用ができた。
- △自己紹介の仕方についてICTなどを活用し、よりよいものを目指したい。



6年家庭科「クリーン作戦で快適に」

どきどき(事象・出会い) 実生活や既習事項との関連等

【工夫した点・意図】

- ・課題に必然性をもたせるため、前時の汚れウォッチングで調べた場所の中から班で話し合って決めさせた。
- ・計画を立てる前に、掃除する場所の汚れを再度確認し課題を明確にさせた。

【成果と課題】

- 校内の汚れウォッチングをさせたことで掃除の計画への意識付けとなり、児童に掃除場所を選ぶようにさせたことで意欲を高めることができた。
- △掃除の仕方を調べる活動が前時にできておらず、掃除の方法を考える視点がない状態での掃除場所の確認となった。

